



最優秀賞「新ひだか町賞」宮田直希さん



アレンジメント作品 約縦1.5m×横7m

みついし花き振興会(沼田英之会長)主催の『第19回みついし花き振興会切花品評会』が7月7日に総合市民センターで3年ぶりに開かれ、80点の切り花が出品されました。道内外の花市場関係者ら15人が審査し、最優秀賞を宮田直希さん(三石本桐)が受賞。「品評会

を通して評価を受け、認められたことはとてもうれしい。ほっとしています」と話しました。また、審査員を務めたフラーアレンジメントの資格を持つ町内出身の隆陽子さん(札幌在住)が、出品された花々を使い、1日かけて作品をつくり、ホールでの展示会も行われました。

### 栽培技術と品質高い みついし花き振興会切花品評会

# NEWS FLASH

### 静内保育所園児が

### ミニトマトの植え方などを学習

町立静内保育所は、6月の食育月間にちなみ、ミニトマトの学習を6月15日に同保育所で行い、園児らがミニトマトの苗を植える体験をしました。JAしずない青年部が講師となり、ミニトマトの苗の植え方や育て方を分かりやすく園児に指導しました。保育所では、冬の運動不足解消のためにオリジナルの『太陽の瞳体操』を園児に教えており、この日は『太陽の瞳』を歌う町サポーター大使の阿部卓馬さんもサプライズで登場。園児らも体操しながら阿部さんと一緒に太陽の瞳を歌い、楽しいひとときを過ごしました。



左3人目からデュバルさん、ブランシェさん

### 農業高校や牧場で農業体験

### フランス留学生が来日

日本とフランスの農業高校生が交流する農林水産省の日仏農業教育連携事業で来日したフランスのベルジェ高校の学生クレア・デュバルさんとカッサンドラ・ブランシェさんの2人が、6月21日に役場静内庁舎を訪れました。日本にきた理由について、デュバルさんは「日本を自分の目で見てみたい」、ブランシェさんは「アジア文化に興味があった」と話しました。2人は6月18日から7月20日までの約1か月間、静内農業高校で実習や授業を受けたほか、町内の牧場でインターンシップを行いました。



### 静内農業高校・静内高校の生徒が

### 全国大会での健闘を誓う

馬術や陸上競技で全国大会に出場する静内農業高校と静内高校の生徒が6月28日に役場静内庁舎を訪れ、大野町長に健闘を誓いました。馬術では、全日本高等学校馬術競技大会北海道地区大会で団体戦優勝の静内農業高校馬術部と同準優勝の静内高校馬術部、個人戦優勝の本間駿名さん(静内高2年)が、陸上では、第57回北海道高等学校陸上競技選手権大会の女子ハンマー投で優勝の長田姫奈さん(静内高2年)が出場します。生徒らは「優勝を目指す。自分たちの力を最大限発揮したい」と意気込みを述べました。

### 三石翔武館の剣士が全国大会出場へ

剣道で全国大会に出場する三石翔武館(野口誠館長)の剣士2人が7月11日に役場静内庁舎を訪れ、大野町長に健闘を誓いました。6月19日に伊達市で開催された第46回北海道道場少年剣道大会の団体戦小学生の部でベスト8、また、個人戦小学生女子

の部で池田美咲さん(三石小6年)が準優勝し、全国大会へ出場します。団体戦と個人戦に出場する池田さんは「昨年より上位に行けるように頑張りたい」、団体戦に出場する野口愛乃さん(三石小5年)は「できるだけ勝てるように頑張りたい」と決意を述べました。



左2人目から野口さん、池田さん

タイトルホルダー号  
宝塚記念を制覇 GI3勝目  
『第63回宝塚記念(G I・芝2200m)』が6月26日に阪神競馬場で開かれ、岡田スタッド(岡田牧雄代表・静内目名)の生産馬タイトルホルダー号が見事優勝を果たしました。レースでは、同馬が最後の直線で先頭に立ち、力強い走りによりレコー

